

まず、知る こと から始めよう

男女共同参画ってなんだろう？



男女共同参画とは…

男女がお互い尊重し合い、職場、学校、家庭、地域などの社会のあらゆる分野で、性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことです。

1 必要性を知る なぜ、男女共同参画が必要なの？

これまで、男女共同参画社会の実現に向けてさまざまな取り組みを行ってきましたが、男女の賃金格差や、意思決定の場に女性が少ない、といった課題が残っています。

その背景には、「男は外で働き、女は家庭を守るべき」という考え方に代表される、性別による固定的役割分担意識や、無意識の思い込みが根強くあることが考えられます。

この考え方を否定するものではありませんが、性別で役割を決めつけられることで、仕事と家庭の両立が難しくなったり、生きづらいつ感じたりする人も少なくありません。

男女共同参画に取り組むことは、すべての人が人生を充実させ、暮らしやすい社会を実現することにつながります。

性別のイメージや思い込みに気付き、お互いに認め合い、協力し合うことが、家庭や職場、地域社会の中で、「自分らしく」暮らししていく上で大切です。

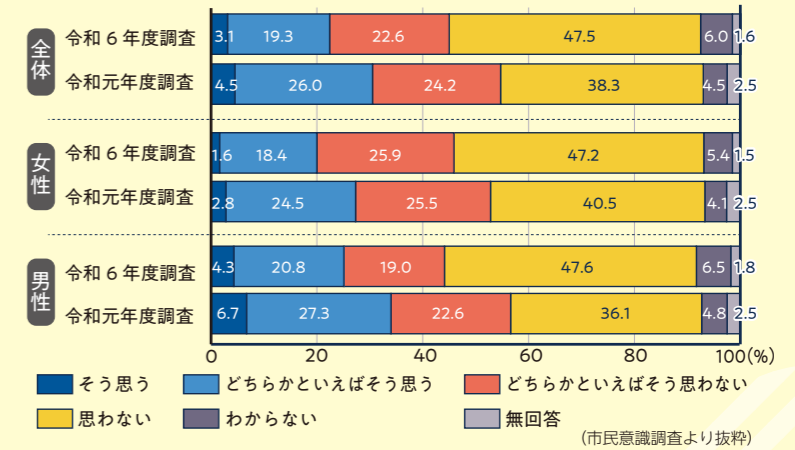


2 無意識の偏見を知る アンコンシャス・バイアスって何だろう？

令和6年度に本市が実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」といった考え方に「そう思う（「どちらかといえばそう思う」を含む）」と回答した人は、全体で22.4%と、前回調査から8.1ポイント減少しています。

性別による固定的役割分担意識は、一人ひとり異なるものの、若い世代の方が、「そう思わない（「どちらかといえばそう思わない」を含む）」と回答する傾向にあることが調査から分かりました。

このような性別による固定的役割分担意識には、**無意識の思い込み・偏見（アンコンシャス・バイアス）**が関係していることが考えられます。



あなたは、
どんな人を
想像しましたか？



無意識の思い込み・偏見（アンコンシャス・バイアス）とは、何かを見聞きしたときなどに、無意識に「〇〇といえば□□である」と思い込むことです。多くの情報を素早く整理し判断するのに役立ち、私たちが毎日を過ごす中で、行動をスムーズにするといった側面があります。一方で、意図せず人を性別や年齢で決めつけてしまうことがあるため、働き方や暮らし方をより良く変革していく上での障壁となることがあります。

この思い込みは、幼少期からの身近な人間関係やメディアの影響など、長年の経験を通じて形成されるため、自分の持つ偏見に気付くこと、そして、多様な価値観を尊重することの大切さを学ぶことが重要です。

アンコンシャス・バイアスは、私たちの身近な生活の場面に隠れています。自分の中に無意識の思い込み・偏見がないかチェックし、当てはまった項目について、少し立ち止まって考えてみましょう。

あなたのアンコンシャス・バイアスをチェック！

- 女性には女性らしい感性があるものだ
- 男性は仕事をして家計を支えるべきだ
- 女性は感情的になりやすい
- デートや食事のお金は男性が負担すべきだ
- 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない
- 共働きでも男性は家庭より仕事を優先するべきだ
- 女性はや弱い存在なので、守られなければならない
- 組織のリーダーは男性の方が向いている
- 女性は結婚によって、経済的に安定を得る方が良い
- 男性は人前で泣くべきではない

【令和3年度内閣府男女共同参画局実施「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査結果」の中で、「そう思う（「どちらかといえばそう思う」を含む）」と回答した男女別上位10項目から抜粋】



3 実体験を知る

職場でのエピソードを聞いてみよう



前ページの写真から想像した人はどんな姿でしたか。アンコンシャス・バイアスはありませんでしたか。実際に、現場で働くお二人に、アンコンシャス・バイアスを感じたり経験したりしたエピソードを聞きました。

令和7年4月から情報指令課で119番通報を受け付けるオペレーターとして勤務しています。私が消防士として採用された当時は、全国的に見ても事故や火災などのさまざまな現場で、救助の仕事に女性が入るのは珍しく、その道へ進むことは難しいと言われていました。私はそれが悔しくて、救助の仕事を目指しました。その結果、中消防署で救助隊の隊員として配属され、その後北消防署で救助隊長を任されることになりました。

体力という面では男性と差を感じることもありますが、最低限の体力は絶対に付け、「それはできません」と言うことのないよう、日々トレーニングをしています。

消防本部 情報指令課 小崎



羽津保育園に勤めて3年目になります。公立保育園の男性保育士の数は少なく、同時期に採用された保育士のなかで、男性は私一人だけでした。保護者の皆さんから男性保育士が担当することに対し、ご意見はいただいていませんが、不安を感じないように、保護者の皆さんとの信頼関係を築くことを大切にしています。そして、子どもたちと遊ぶ時も、男の子とか女の子とかに関係なく、三輪車に乗りたい、おままごとをしたいなど、子どもの気持ちに向き合って、毎日一生懸命遊ぶように心掛けています。

保育幼稚園課 羽津保育園 平川

アンコンシャス・バイアスを減らす 3つのポイント

1. 「普通は」に注意!



「男性なら残業するべき」、「普通は女性なら結婚するものだ」、本当にそう言い切れますか。「べきだ」といった押し付けの言葉や「普通は…」といった決めつけの言葉が出たら、立ち止まって考えてみましょう。

【出典：政府広報オンライン「アンコンシャス・バイアスを減らす3つのポイント！誰もが活躍できる社会に」より抜粋】

2. 相手のサインを見逃さない



話しているときに、急に相手の表情が曇ったり、声のトーンが変わったりしたことはありませんか。そんなときは、自身のアンコンシャス・バイアスから出た言動で相手を傷付けたのではないかと振り返ってみてください。

3. 常に自分に問い掛ける



常に自身の言動を振り返り、問い掛けることが大切です。違和感のあったことをメモしていけば、自分の考え方や物の見方の傾向がつかめるかもしれません。

4 詳しく知る

男女共同参画に関する本市の取り組みについて

1 男女共同参画プラン(はもりあプラン)を策定し、取り組みを進めています

性別に関わりなく一人ひとりの人権が尊重され、お互いが責任を分かち合い、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、市として施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画です。

令和7年度に「男女共同参画プランよっかいち(はもりあプラン)2026～2030」を新たに策定しました。



詳しくは市ホームページをご覧ください



はもりあプラン 2026～2030のポイント

Point 1 「基本計画」と「実施計画」というプラン構成へ

基本計画には施策の方向を記載し、実施事業については、別途実施計画を作成し、毎年度内容の見直しを行うことで、その時々の実情に応じた施策を実施します。

Point 2 困難女性支援法に基づく基本計画へも位置付け

前プランは、「男女共同参画社会基本法」、「四日市市男女共同参画推進条例」、「配偶者からの暴力の防止および被害者の保護等に関する法律」、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく基本計画および推進計画に位置付けていました。令和6年4月1日に施行された、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(困難女性支援法)」に基づく、「市町村基本計画」にも位置付けることにより、この法律の内容も含まれたプランとしました。

※困難女性とは、性的な被害、家庭の状況、地域社会との関係性その他さまざまな事情により、日常生活または社会生活を円滑に営む上で困難な問題を抱える女性(その恐れのある女性も含む)を指します

Point 3 「多様性」という考え方を重要な視点に追加

一人ひとりの違いを認め合うという多様性の考え方は、性別に関わらず、個性と能力を十分に発揮できるという男女共同参画の考えに通じるものです。本プランでは、多様性を認め合う意識が、啓発や相談などの施策を実行していく上で大切であることから重要な視点に含めました。

2 男女共同参画社会に向けた取り組みを支援しています

男女共同参画センター「はもりあ四日市」では、男女共同参画社会を実現するための取り組みを進めているほか、市民団体などと協力して啓発事業も展開しています。



はもりあ四日市(本町プラザ3階)



ミーティングフロア



図書コーナー

男女共同参画社会の実現を推進・賛同する34の市民団体が、はもりあ四日市に登録し、活動しています。(令和8年5月末時点)

詳しくははもりあ四日市ホームページをご覧ください

